

平成29年度 活動報告

1. はじめに

この春の卒業生が入学した時（H24 年）、南小の児童数は211 人、またその時の南小校区地域の人口は5,762 人であった。ところが卒業時には、児童数は154 人となり27%の減少、人口は5,403 人で6%の減少となった。また、年少人口比、高齢人口比率は、各々8.1→7.0%、29.5→42.3%へと大きく変化した。人口の減少・少子高齢化は全国的な問題ではあるが、この地域の数値は特異であり、地域の支え合い・助け合いは特段に求められている

こうした中で私たちは、

- * 1. 児童たちが健やかにそして浚刺と成長できるよう応援する活動
- * 2. 高齢者や障がい者が安心して日々過ごせるための支援活動
- * 3. 地域の安全を守る仕組づくりの活動
- * 4. 会員全員を対象としたバス研修などの自己研鑽活動
- * 5. 情報伝達や地域課題共有のための広報誌「みなみかぜ」の充実に努めた。

本会員の多くは様々なボランティア活動にも参加し本当に多忙の中、日夜努力しています。もっと余裕のある活動であるべきではないかと今年も考えてきましたがその改善には及びませんでした。

2. 子ども支援部 活動報告

(1) 学校・PTA支援活動について

学校支援については、一応出来たと思いますが、今年もPTA活動への協力が不十分であった。PTAとのコミュニケーションを密にする必要がある。

(2) 防災・防犯支援活動

今年度は活動が少ない予定でしたが、児童と消防団や地域の人々との協働によるバケツリレー、更に先生を含む防災ベンリグッズの作成実習など成果もありました。

(3) 安全生活見守り支援活動

昨年より椎の木台と桜台で別個に開催された「訪問員会議」は如何であったか？
また見守り訪問員の増員が困難であったなど検討が必要である。

(4) 歳末助け合い運動の実施

今年は、12月24日に開催しましたが、やはりPR不足か？ 参加者集めにももう少し研究が必要？
お手伝い頂いた方々にはお礼申し上げます。

3. 安全部 活動報告

1. 市原市総合防災訓練の地区会場訓練について有秋支所と打合せのもとネットワーク主体で計画作成し、5町会と有秋南小学校一体の訓練を実施した。
 - ① 各町会で整備を進めた「安否確認シート」を使った全戸安否確認訓練を初めて5町会そろって実施、各町会の状況確認や更なる改善点の把握ができた。
 - ② 南小学校会場訓練として有秋分署、消防団、各町会役員、NWメンバーの協力を得て小学児童1～6年生全員と一体型訓練を行った。
 - ・消防団による小型ポンプ操法の見学
 - ・小学児童と参加者全員がA・B2班に分かれバケツリレーによる消火訓練
 - ・バケツリレーは片手渡しと両手渡しの2方式を行い、荷物の手渡し運搬の体験を兼ねた。
 - ③ ネットワークメンバーの協力による防災ベンリグッズの製作を行った。
 - ・新聞紙を使用した簡易スリッパづくり（1～4年生）
 - ・45ℓ家庭用ゴミ袋を利用した簡易カッパづくり（5～6年生）
2. 南小学校防災・防犯関連行事への対応
引渡し訓練 市内一斉訓練（集団下校）マラソン校外練習および納会
3. 各町会の「安否確認シート」を活用した訓練と安否確認方式の見直し
 - ① 市原市総合防災訓練にて5町会で実施した。
 - ② 市原市より「避難行動要支援者」名簿が関係町会に配布された。
- (4) 南小学校「防災教室」の活用と展示品のフォロー
引渡し訓練参加父兄への教室紹介 南小先生への防災ベンリグッズ製作講習
- (5) 有秋地区防災無線通信訓練
有秋社協所有のトランシーバーを借用し、災害時の通信手段確保の一環として有秋支所／アネッサ／東小／西小／南小、相互間の通信確認を実施した。

4. 総務部 活動報告

- (1) 会員相互の連携・協働を深める
 - ① 研修会、懇親会の開催 テーマ「自分のまちの防災体制を知る」
平成30年1月31日（水）有秋地区および市・防災施設の見学と防災講義
 - ・有秋地区・防災倉庫および防災井戸の見学（有秋公民館駐車場内）
 - ・福増クリーンセンター姉崎分場の応急給水施設を外から見学
 - ・本庁・防災倉庫および備蓄庫の見学
 - ・市・危機管理課 地域防災マネージャー 内田氏による講義
 - ＜内 容＞1. 危機意識
 - 2. 自分たちの住むまちの災害リスク
 - 3. 生き残るための備え！（自助、共助について）
 - ・更級公園の防災設備の見学（ベンチのかまど等）
参加者27名、（懇親会；16名）

- ②安心訪問グループとの合同研修会および懇親会（フォローアップ研修）
平成 29 年 7 月 12 日（水）講師；たいよう 中島所長
テーマ；相談を受ける時の心構えについて
懇親会；自己紹介・活動紹介など
参加者；29 名
- (2) 地域情報を共有するために広報誌「みなみかぜ」の発行
第 20 号（2017 4 月発行）、第 21 号（2017 7 月発行）、
第 22 号（2017 10 月発行）、第 23 号（2018 2 月発行）
- (3) 先生、保護者及び学校支援ボランティアとの交流を図る。
①運動会参加、バザーの手伝い、マラソン立会い、グラウンド草刈作業やありがとう
集会などに参加し交流した。
- (4) 防災・防犯について学ぼう
①市総合避難所訓練（市原市、9 月 3 日）、避難所運営の体験訓練（地区社協・ネ
ットワーク共催、11 月 11 日）や防災研修（1 月 31 日）を行う。

5. 「安心生活見守り支援事業」活動報告 {安心訪問グループ}

- (1) 「安心訪問の質の向上」について
- ・実際の活動の中で民生委員や地域包括支援センターとの連携を図った。
 - ・クリスマスには、希望者へプレゼントを贈るなどして交流を深めた。
 - ・訪問員のフォローアップ研修を実施；（2017.7.12）
「相談をうけるときの心構え」 講師；地域包括支援センターたいよう 中島所長
- (2) 「隠れた訪問希望者の顕在化」について
- ・今年度は昨年に比較して、希望者が 3 人、訪問員が 2 人減少した。
希望者の減少は 2 名が家族の住む近辺への転居だが、この家族近住はある意味理想
形ではなかろうか。
 - ・独居高齢者や高齢者のみ家族が増えている中、参加者が増えないことは問題である。
上手な PR 活動を行う等検討が必要である。
 - ・訪問員の減少は高齢化によるか。
 - ・事業参加者数

年月	2017 年 3 月			2018 年 3 月		
町会別	計	椎の木台	桜台	計	椎の木台	桜台
希望者	24	17	7	21	15	6
(平均年齢)					(82.3)	(84.3)
訪問員	29	11	18	27	10	17
合計	53	28	25	48	25	23